

## 3D・CGでよみがえる昭和40年代の夕張本町商店街

A Three-Dimensional Reconstruction of the Yubari Shopping Area, 1965-75

研究メンバー ★…プロジェクトリーダー

Research Member ★…Project Leader

★杉山伸也 <経済学部・教授>  
坂口誠 <DMC 機構・専任講師>

★SUGIYAMA, Shinya <Professor, Faculty of Economics>  
SAKAGUCHI, Makoto <Assistant Professor, DMC>

連絡先 E-mail/URL

sakaguti@dmc.keio.ac.jp

このプロジェクトの目的は、最先端の3次元CG技術を利用して、炭鉱閉山後に急速に消滅した昭和40年代の炭鉱地域の景観をビジュアル化し、XVLプレーヤーによりユーザが自由にウォークスルー可能な形態で復元して、Web上で公開するとともに、歴史資料として保存することである。これまでに昭和40年代の北海道夕張市の本町商店街の復元に取り組んでいる。空中写真と標高データの得られる地勢図を利用して地形の再現を行ない、石炭博物館、郷愁の丘ミュージアムおよび夕張市役所から提供された当時の写真および地図類等を利用して商店の位置を確定し、建物の復元作業を実施している。本年度は、当時夕張市に居住していた方や商店街の方に対するインタビューを実施してオラル・ヒストリーとしての生活の記憶を収集し、再現された街並みに埋め込む作業を行なっている。これにより視覚・聴覚双方を通して、ディスプレイ上で最大限の歴史的リアリティーの再現をはかり、消滅した街並みの復元と歴史資料としての保存をすすめている。

As a result of the decline of the Japanese coal industry, the once flourishing coal towns of Hokkaido including Yubari have changed beyond recognition. The aim of this project is therefore to use advanced 3D technology to recreate the virtual reality of the Yubari shopping area during the years 1965-75. Contemporary aerial photographs and topographical maps of the period have provided the basis for the landscape, and external views of every shop have been pieced together also using contemporary photographs. In addition, shop owners and residents have been interviewed in order to collect their memories of daily life. These interviews have been edited and embedded into the 3D simulation so that the Internet user can experience the historical reality of Yubari to the fullest extent possible.

はせ薬局

1926 (大正15)年創業。医薬品・化粧品販売。『夕張商工名鑑』によれば1967 (昭和42)年現在の店主は長谷善一、従業員3名。

ページが表示されました

インターネット